環境委員会

委員一覧（20名）

委員長	有村　治子（自民）	大石　正光（民主）	若林　正俊（自民）
理　事	岡崎　トミ子（民主）	大久保　潔重（民主）	加藤　修一（公明）
理　事	ツルネン マルテイ（民主）	轟木　利治（民主）	浜四津　敏子（公明）
理　事	神取　忍（自民）	広中　和歌子（民主）	市田　忠義（共産）
理　事	松山　政司（自民）	福山　哲郎（民主）	荒井　広幸（改ク）
	小川　勝也（民主）	川口　順子（自民）	川田　龍平（ 無 ）
	大石　尚子（民主）	矢野　哲朗（自民）	（20.11.11 現在）

（1）審議概観

第170回国会において、本委員会に付託された法律案はなかった。

また、本委員会付託の請願4種類24件は、いずれも保留とした。

〔国政調査等〕

11月11日、環境行政の基本施策について斉藤環境大臣等から発言があった。

また、第169回国会閉会後に行われた北海道における自然環境保全に関する実情調査について、派遣委員から報告を聴取した。

11月13日、環境及び公害問題に関する調査を議題とし、2007年度温室効果ガス総排出量増加と中期目標、オバマ次期米国大統領の地球温暖化対策、太陽光発電の推進、国内排出量取引の試行、漂流・漂着ゴミ、次期温室効果ガス削減枠組みに中国が参加する必要性、食の安全と日中環境協力、金融危機と各国の温暖化対策、原子力発電に依存しない温暖化対策の必要性、新エネルギーの導入促進とエコ・デバイド（環境格差）、水俣病被害者救済等について質疑を行った。

11月20日、皇居外苑濠水の浄化状況及び絶滅危惧植物の保全活動の取組状況等に関する実情調査のため、東京都内の視察を行った。

12月24日、皇居外苑濠水の浄化状況及び絶滅危惧植物の保全活動の取組状況等に関する実情調査について、視察委員から報告を聴取した。

また、第10回日中韓三カ国環境大臣会合、気候変動に関する国際連合枠組条約第14回締約国会議及び京都議定書第4回締約国会合について、斉藤環境大臣から報告を聴取した。

（２）委員会経過

○平成20年11月11日（火）（第１回）

○理事の補欠選任を行った。

○環境及び公害問題に関する調査を行うことを決定した。

○派遣委員から報告を聴いた。

○平成20年11月13日（木）（第２回）

○政府参考人の出席を求めることを決定した。

○2007年度温室効果ガス総排出量増加と中期目標に関する件、オバマ次期米国大統領の地球温暖化対策に関する件、太陽光発電の推進に関する件、国内排出量取引の試行に関する件、漂流・漂着ゴミに関する件、次期温室効果ガス削減枠組みに中国が参加する必要性に関する件、食の安全と日中環境協力に関する件、金融危機と各国の温暖化対策に関する件、原子力発電に依存しない温暖化対策の必要性に関する件、新エネルギーの導入促進とエコ・デバイド（環境格差）に関する件、水俣病被害者救済に関する件等について斉藤環境大臣、吉野環境副大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

福山哲郎君（民主）、轟木利治君（民主）、大久保潔重君（民主）、神取忍君（自民）、加藤修一君（公明）、市田忠義君（共産）、荒井広幸君（改ク）、川田龍平君（無）

○平成20年12月24日（水）（第３回）

○皇居外苑濠水の浄化状況及び絶滅危惧植物の保全活動の取組状況等に関する件について委員から報告を聴いた。

○第10回日中韓三カ国環境大臣会合、気候変動に関する国際連合枠組条約第14回締約国会議及び京都議定書第４回締約国会合に関する件について斉藤環境大臣から報告を聴いた。

○請願第178号外23件を審査した。

○環境及び公害問題に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。

委員派遣

○平成20年７月24日（木）、25日（金）

○北海道における自然環境保全に関する実情調査

〔派遣地〕

北海道

〔派遣委員〕

松山政司君（自民）、岡崎トミ子君（民主）、ツルネンマルテイ君（民主）、中川雅治君（自民）、橋本聖子君（自民）、加藤修一君（公明）、川田龍平君（無）